

# 自ら考え、対話を通して学びを深める理科学習の創造

—ICT 機器等を活用した「つながる・つなげる」意識の醸成を通して—

今年度、坂上小学校はよりよい理科の授業が行えるように研究を行います

理科の授業の対話を通じた学習活動で…

## 坂上小学校の児童をこんな子供たちに育てたい！！

- 身の周りの環境の中から「おや？」「どうしてだろう？」「もっと調べてみたい！！」と自ら課題を見つけられる子に
- 予想を立てたり、試行錯誤したりしながら粘り強く課題を解決できる子に
- 他の人の考えや様々な情報、経験を生かしながら自分の考えを豊かに表現できる子に

そのために、理科の授業でタブレットなどを使いながら、友達の考えや今までの学習の成果、生活を通して学んだことをつなげて課題を解決する学習活動を多く取り入れます。

友達と自分の考えをつなげる



自分自身の考えを表現する



対話をしながらよりよい考えを作り出す



1, 2年生

じっくりと時間をかけて育てます

3年生では…

身の周りのものや出来事の、似ている点や異なる点に着目して、そこから自分たちで解決できる問題を見つけ出せるようにします。

4年生では…

自分たちで見つけた問題について、今までの学習や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想できるようにします。

5年生では…

予想や仮説を基に、問題を解決する方法を考えられるようにします。

6年生では…

問題について試行錯誤しながら追究し、より妥当な考えを作り出せるようにします。



以前の学習と今の学習をつなげる

中学校へ